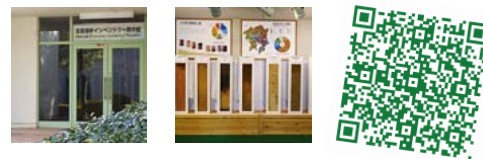


# 農業環境インベントリー展示館

Natural Resources Inventory Museum

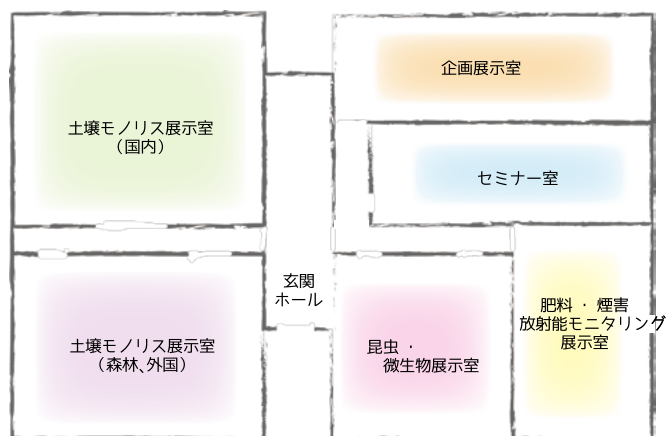


研究本館の東側には、小中学生をはじめとする近隣の方々、高校生や大学生、国内外からの研究者など、さまざまな人が訪れる場所があります。そこが、農業環境インベントリー展示館です。

農業環境変動研究センターでは、気候変動などの環境変動によって農業がどのような影響を受けるのか、また、農業が環境や生物の多様性にどのような影響をおよぼすのかについて研究しています。私たちは、これらの研究を進める過程で、農業に不可欠な土壌、水、大気などの環境資源、昆虫、微生物、動物、植物などの生物、肥料や農薬などの農業資材など、さまざまな試料や標本を集めてきました。また、これらに関する文献や資料、知見を収集し、新たな手法や技術、研究成果を生み出してきました。このような研究の過程で得られた「もの」と「情報」を、整理・保存し、展示しているところが農業環境インベントリー展示館です。

この展示館は、他の展示館や博物館にはない、もう一つの大きな役割を担っています。その役割は、一般には聞き慣れない「インベントリー」という言葉が示しています。「インベントリー」には、財産や在庫品を利用しやすくするために整理した「目録」という意味があります。私たちは、これまで集めてきた貴重な財産を、将来にわたって広く利用してもらうために、使いやすい分類・整理方法や情報の発信手法についての研究もおこなっています。展示館では、これらの成果もあわせて紹介しています。

農業環境インベントリー展示館は、2005(平成17)年に、それまで別々に設置されていた「土壌モノリス館」、「昆虫標本館」、「微生物標本館」の展示部門を統合して開設されました。現在は、土壌モノリス展示室、昆虫・微生物展示室、肥料・煙害・放射能モニタリング展示室のほか、企画展示室、世界の昆虫オブジェ展示コーナーが設置されています。また、セミナー室も設けられ、最新の研究成果を紹介する交流の場となっています。農研機構のウェブサイトには、「農業環境インベントリー展示館」の紹介のほか、収集した情報をどなたでも利用いただける各種の「データベース」を掲載しています。多くの方々に農業環境インベントリー展示館にお越しいただき、また、データベースを利用していただくことで、農業環境への理解を深めていただければ幸いです。また、みなさまとの交流を、より使いやすい情報の発信に役立てたいと思っております。



展示室の配置図



農研機構 農業環境変動研究センター  
環境情報基盤研究領域長 鳥谷 均

(展示内容の紹介は次ページより、利用案内は5ページを参照)